

令和 2 年度

重 要 要 望 書



めがねのまちさばえ

Sabae Japan Eyeglasses

福井県鯖江市

ごあいさつ

平素は、鯖江市政発展のため格別の御理解と御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

わが国の景気は平成24年以降、緩やかに回復を続けてきましたが、地方における経済状況は依然として厳しく、鯖江市においては引き続き財政の健全化に取り組み、効率的かつ効果的な行財政運営を進めております。

鯖江市には、眼鏡産業をはじめとした「ものづくり」のほかに、これらを支えてきた伝統、歴史、風土、技、人などの、豊かな「地域資源」に満ち溢れています。

これらの地域資源を「世界にはばたく地域ブランド『めがねのまちさばえ』」として国内外に積極的・効果的に情報発信し、地域全体のブランドを向上させるとともに、女性が輝くまちづくりを軸としたSDGsの取組みを推進することで、50年、100年と将来にわたり成長力を確保し、若者が住みたい、住み続けたいと思う持続可能なまちづくりを目指してまいります。

つきましては、次に掲げる事項は、魅力あるまちづくりに取り組むための重要な課題となりますので、令和2年度予算措置および今後の各種施策の推進に際し、特段の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年8月

鯖江市長 牧野 昭男

令和２年度 重要要望事項 目 次

【重点事項】

- 1 安心して快適に暮らせる社会基盤の整備について〔継続〕…………… 1
- 2 北陸新幹線金沢・敦賀間の整備に伴う課題への対応について〔継続〕…………… 2
- 3 地域公共交通ネットワークの確保・維持への支援について〔継続〕…………… 3
- 4 持続可能な地域農業への支援について〔新規〕…………… 4

【重要事項】

- 1 陸上自衛隊鯖江駐屯地の規模拡充について〔継続〕…………… 5
- 2 原子力防災体制整備の強化について〔継続〕…………… 6
- 3 子ども医療費助成制度の拡充について〔継続〕…………… 7
- 4 障がい児等の受入れ体制強化のための財源拡充について〔新規〕…………… 8
- 5 保育人材の安定的な確保のための施策の実施について〔継続〕…………… 9
- 6 新産業創出への支援について〔継続〕…………… 10
- 7 眼鏡産業の振興支援について〔継続〕…………… 11
- 8 越前漆器産業の振興支援について〔継続〕…………… 12
- 9 福井ものづくりキャンパスを活用したデザイン振興支援について〔継続〕…………… 13

10	強い水田農業の推進への支援について〔継続〕	14
11	広域的な鳥獣被害対策の強化について〔継続〕	15
12	河川改修事業の早期完成と河川環境整備について〔継続〕	16
13	通常砂防事業（堰堤）および急傾斜地崩壊対策事業（法面工）の 整備促進について〔継続〕	17
14	国・県道等の整備促進について〔継続〕	18
15	農業農村整備事業の確実な推進について〔継続〕	19
16	県立高校2校（鯖江高校、丹南高校）の統合に伴う 高校教育の充実について〔継続〕	20
17	2020東京オリンピック体操競技事前合宿の開催に向けた 支援について〔継続〕	21

重 点 事 項

- 1 安心して快適に暮らせる社会基盤の整備について〔継続〕
- 2 北陸新幹線金沢・敦賀間の整備に伴う課題への対応について〔継続〕
- 3 地域公共交通ネットワークの確保・維持への支援について〔継続〕
- 4 持続可能な地域農業への支援について〔新規〕

安心して快適に暮らせる社会基盤の整備について

当市では、「鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の実現に向け、住民が安心して住み続けることができる災害に強いまちづくりに努めるとともに、安全に通行できる幹線道路の整備を行うなど、安心して快適なまちづくりを推進しています。

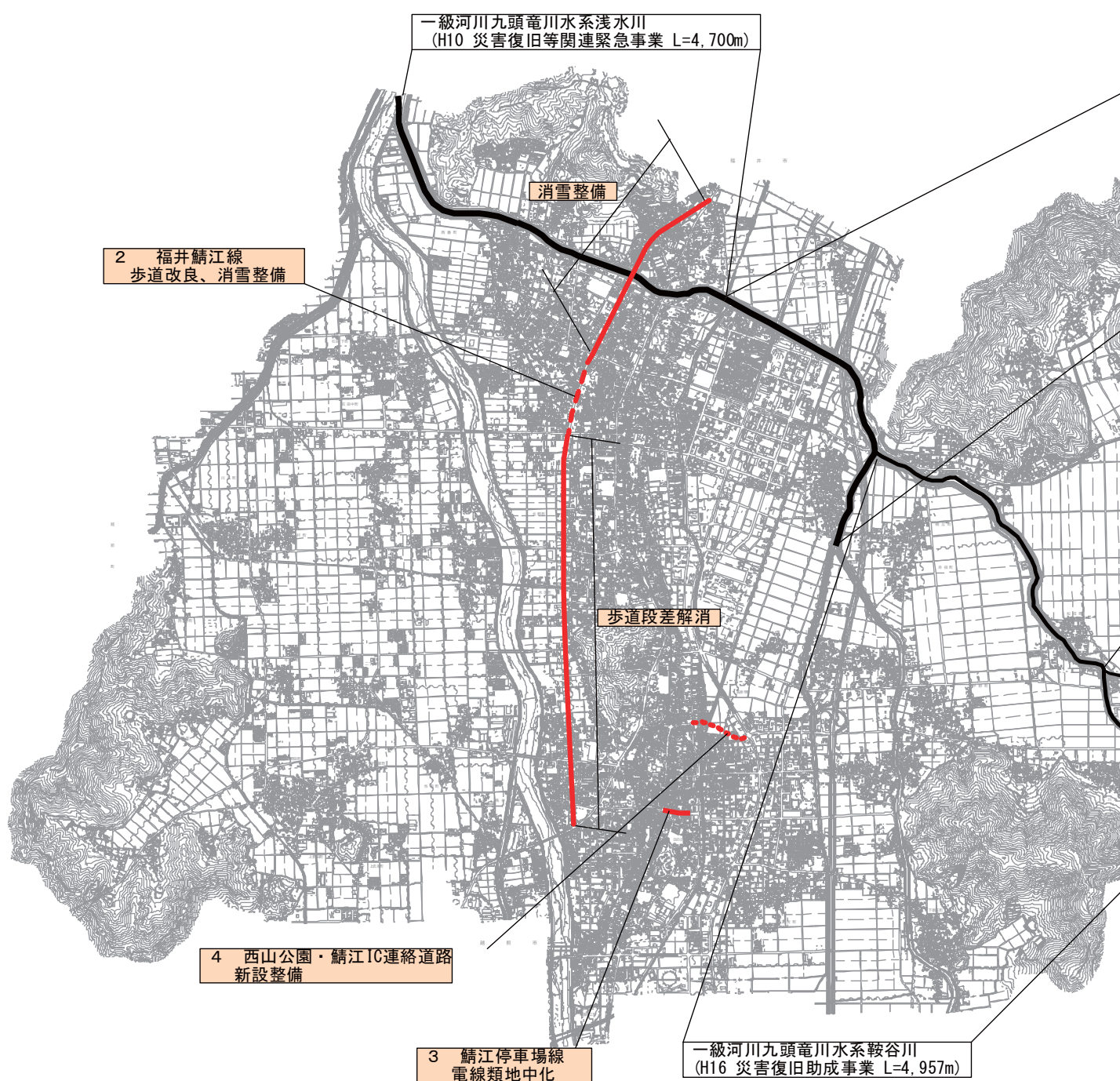
また、国道４１７号冠山峠道路の完成による中京圏から市内への人の流れの拡大も視野に入れた、活力と賑わいのあるまちづくりに取り組んでいます。

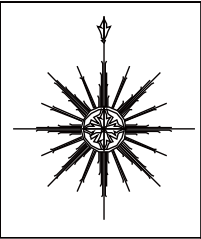
つきましては、安心して快適かつ賑わいのあるまちづくりの実現に向け、下記事項について特段の御高配を賜りますよう要望します。

記

- 1 一級河川河和田川 河川改修事業の事業着手
- 2 一般県道福井鯖江線（福井市境～越前市境）歩道改良、消雪整備
- 3 一般県道鯖江停車場線（ＪＲ鯖江駅前）電線類地中化
- 4 西山公園・鯖江ＩＣ連絡道路 新設整備

要 望 箇 所 図





一級河川九頭竜川水系浅水川
(H10 災害復旧助成事業 L=2,715m)

一級河川九頭竜川水系和田川
(H16 災害復旧助成事業 L=593m)



1 一級河川九頭竜川水系和田川
事業着手 (L=3,600m)

一級河川九頭竜川水系和田川
総合流域防災事業
(橋梁改修3橋、堰改修2箇所)



北陸新幹線金沢・敦賀間の整備に伴う 課題への対応について

北陸新幹線金沢・敦賀間については、令和５年春の開業に向けて整備が進められています。また、敦賀以西のルートを小浜・京都ルートとすることが正式に決定され、一日も早い大阪までのフル規格による全線開業が望まれるところです。

そのような中、昨年８月に国土交通省が北陸新幹線へのフリーゲージトレインの導入を断念する方針を明らかにし、このままでは、現在、特急が直通運行している北陸と関西・中京間の移動については、敦賀開業後は敦賀駅での乗り換えが生じることによって利便性が大きく低下するため、これらの地域とのつながりが強く、観光やビジネスでの交流人口が増加傾向にある当市にとって、その影響は計り知れません。

このため、住民からは関西圏への利便性を確保するため、大阪までフル規格で開業するまでの間、福井駅までの特急「サンダーバード」の運行存続を求める声が上がっています。

あわせて、敦賀開業後の中京圏への利便性を確保するため、特急「しらさぎ」の運行存続を求める意見も多く寄せられています。

つきましては、新幹線の駅がない当市の事情を御賢察のうえ、下記事項について特段の御高配を賜りますよう要望します。

記

- 1 フリーゲージトレインの導入を断念したことを踏まえ、関西圏への利便性を確保するため、大阪までフル規格で開業するまでの間、福井駅まで特急「サンダーバード」を引き続き運行させるよう、県からも国やＪＲに対して強く要請すること。
- 2 南越駅（仮称）の駅名選定にあたっては、当市の発展や誘客にとって重要な役割を果たすため、「鯖江」の名称を入れるよう県からもＪＲ西日本へ強く要請すること。
- 3 敦賀開業後も中京圏への利便性を確保するため、福井駅を乗り換え拠点と位置づけ、特急「しらさぎ」を引き続き運行させるよう、県が中心となって国やＪＲに対して強く要請すること。



地域公共交通ネットワークの確保・維持への 支援について

北陸新幹線金沢・敦賀間が令和５年春に開業されることに伴い、経営分離後の並行在来線の利便性を損ねることなく、福井鉄道福武線とで形成される鉄道幹線交通と、路線バスやコミュニティバスなどによる二次交通網のネットワーク化を推進することが当市の重要な課題です。

福井鉄道福武線に対し、国・県・沿線３市は、平成３０年度から５年間、行政支援を行うこととしておりますが、福井鉄道福武線が令和５年度以降も運行していくためには、福井鉄道の経営とサービスの強化を進めていくことが必要です。

また、路線バスやコミュニティバスの利便性向上を図るため、県の「新ふるさと創造」推進事業による御支援のもと、平成２９年度から「鯖江市地域公共交通再編実施計画」に基づく路線バスやコミュニティバスの運行を行っており、これらのフィーダー交通を将来にわたって確保・維持することが必要です。

つきましては、地域公共交通ネットワークの確保・維持を図るため、下記事項について特段の御高配を賜りますよう要望します。

記

- 1 並行在来線の運営に向けては、快速列車などの運行や隣県の第３セクター会社への相互乗り入れなどで、経営分離後も地域公共交通ネットワークの幹線としての利便性が確保されるよう配慮すること。
- 2 福井鉄道の経営とサービスの強化について、今後設立される並行在来線運営会社との一体的経営を見据えて、引き続き県が主導的に検討すること。
- 3 地域のニーズを踏まえた最適な交通手段であるバス交通を維持するための支援を継続するとともに、南越駅（仮称）とのアクセスも含め、丹南各地域からのバス交通の利便性が確保されるよう国に対し支援制度の拡充を求めること。
- 4 当市が北陸新幹線金沢・敦賀間開業のメリットを生み出すため必要となる総合的な２次交通網の構築に向けた様々な取組みに対して、最大限の支援を行うとともに、国やＪＲ、関係機関への協力を要請すること。



持続可能な地域農業への支援について

国は農地中間管理事業を創設し、担い手農家への農地集積を促進してきました。

当市では、これらの事業に積極的に取り組むとともに、平成9年に農業公社グリーンさばえを設立し、継続的に担い手農家への農地の集積・集約化や法人化を進め、経営の効率化やコストの削減を推進することで、県内でも高い担い手への農地集積率を実現しました。

しかしながら、土地持ち非農家の増加に伴い農地や農業への関心が急速に薄らぐとともに、集積が困難な市街地や中山間地の条件不利農地の営農の継続は依然として困難であり、これらの農地への対策が重要になっています。

また、担い手農家の高齢化が進み、将来にわたって持続可能な力強い農業を実現するためには、次世代を担う新規就農者の育成や経営継承者の育成・確保が急務となっています。

つきましては、下記事項について特段の御高配を賜りますよう要望します。

記

- 1 中山間地域および都市近郊地域等の条件不利農地での農業生産を維持し、耕作放棄地の発生を防止するよう関連施策を継続すること。
- 2 規模拡大が困難な集落営農組織や、小規模農家が営農を継続できるよう関連施策を継続して実施すること。
- 3 県の新規就農支援事業について、専業農家出身の後継者の就農につながるよう、親元就農も対象とするなど支援内容を拡充すること。
- 4 水田農業の新たな担い手を育成するため、実践的技術を学べる水田農業版「カレッジ」を創設すること。

重 要 事 項

- 1 陸上自衛隊鯖江駐屯地の規模拡充について〔継続〕
- 2 原子力防災体制整備の強化について〔継続〕
- 3 子ども医療費助成制度の拡充について〔継続〕
- 4 障がい児等の受入れ体制強化のための財源拡充について〔新規〕
- 5 保育人材の安定的な確保のための施策の実施について〔継続〕
- 6 新産業創出への支援について〔継続〕
- 7 眼鏡産業の振興支援について〔継続〕
- 8 越前漆器産業の振興支援について〔継続〕
- 9 福井ものづくりキャンパスを活用したデザイン振興支援について〔継続〕
- 10 強い水田農業の推進への支援について〔継続〕
- 11 広域的な鳥獣被害対策の強化について〔継続〕
- 12 河川改修事業の早期完成と河川環境整備について〔継続〕
- 13 通常砂防事業（堰堤）および急傾斜地崩壊対策事業（法面工）の整備促進について〔継続〕
- 14 国・県道等の整備促進について〔継続〕
- 15 農業農村整備事業の確実な推進について〔継続〕
- 16 県立高校2校（鯖江高校、丹南高校）の統合に伴う高校教育の充実について〔継続〕
- 17 2020東京オリンピック体操競技事前合宿の開催に向けた支援について〔継続〕



陸上自衛隊鯖江駐屯地の規模拡充について

当市には、陸上自衛隊鯖江駐屯地が置かれており、平成16年7月の福井豪雨、平成30年豪雪など数多くの災害現場で活動しています。

このような自衛隊の活動に対し、地域住民は厚い信頼と期待を寄せており、また、安全・安心なまちづくりを進めている当市にとっても重要な役割を担っています。

今後、災害時の迅速な対応、有事の際の国民保護体制を確立するためには、福井県内唯一の自衛隊基地である当該駐屯地は、欠かすことのできないものです。

つきましては、当該駐屯地の重要性を十分認識いただき、下記事項について特段の御高配を賜りますよう要望します。

記

- 1 陸上自衛隊鯖江駐屯地の人員増および敷地拡充などを早期に実現すること。

原子力防災体制整備の強化について

平成２３年に発生した、東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所における重大事故の影響は極めて大きく、当市においても、県が策定した福井県原子力防災計画および福井県広域避難計画要綱に基づき、鯖江市広域避難計画要綱を策定し、原子力災害対策に取り組んでいるところです。

事故の教訓や課題を基に、原子力総合防災訓練が実施されているところではありますが、広域避難計画の実効性の面から必要となる具体的な内容や安全協定のあり方をはじめ、原子力に対する住民の信頼や理解を得るための体制など多くの課題が残されたままです。

つきましては、原子力災害時に備え、下記事項について特段の御高配を賜りますよう要望します。

記

- 1 福井県原子力防災計画および福井県広域避難計画要綱について、避難住民の輸送手段、スクリーニング体制、除染体制、避難所における物資調達・供給体制の整備など、具体的で実効性のある方針を早急に明示すること。
- 2 広域避難者の受け入れ先となる施設などへの緊急時の情報伝達手段の確保や資機材の整備、住民に対し原子力災害に係る正しい知識を周知するための取組みに対して財政支援を行うこと。
- 3 国、県、立地市町、周辺市町の役割分担と関わりを整理し、原子力施設の安全確保および防災上における安全協定の締結について検討すること。

子ども医療費助成制度の拡充について

全国で少子化が進む中、各自治体においては子育て支援に関する施策の展開が求められています。特に、子どもを取り巻く家庭環境が多様化しており、子育て家庭への経済的支援は重要な施策となっています。

現在、県内すべての市町が独自で少子化対策の一環として、子ども医療費助成を実施していますが、平成30年4月から国民健康保険における療養給付費負担金および調整交付金の減額措置分を県に負担していただくことにより、中学校修了までのすべての子どもを対象に医療費の窓口無料化を開始しました。

しかしながら、医療費の窓口無料化に伴い、子ども医療費助成額が増加したことで財政面において大きな負担となっています。

つきましては、子ども医療費助成制度の安定した事業運営が保たれるよう、下記事項について特段の御高配を賜りますよう要望します。

記

- 1 子ども医療費助成制度の対象を中学校修了まで拡充すること。

障がい児等の受入れ体制強化のための 財源拡充について

保育所等における障がい児および医療的ケア児の受入れについては、保育士不足が喫緊の課題である中、入所を希望する児童が年々増加傾向にあるとともに、配慮を要する内容も多様化し、保育士の負担はさらに増しています。

障がい児の受入れに係る財源については、一般財源化されており、4月1日時点における障がい児数を基に基準財政需要額に算入されていますが、年度途中の入所児童数分については反映されていません。

また、医療的ケア児の受入れに係る財源については、医療的ケア児保育支援モデル事業において看護師配置に対する補助が行われていますが、補助基準額が市町単位で設定されており、医療的ケア児の受入れ施設が複数になった場合においては、各施設に看護師を配置できるだけの財源補填はされていません。

これらの状況から、障がい児および医療的ケア児の受入れを保護者の希望どおり行うには、非常に厳しい体制にあります。

つきましては、障がい児および医療的ケア児の受入れ体制強化のため、下記事項について特段の御高配を賜りますよう要望します。

記

- 1 障がい児保育については、年度途中の入所児童数分も含めた適正な財政措置を講じるよう、国に対して強く要請すること。
- 2 「医療的ケア児保育支援モデル事業」における補助基準額は、市町単位ではなく施設単位とするよう、制度の拡充について、国に対して強く要請すること。
- 3 中軽度障がい児受入れ支援策である「ふれあい保育推進事業」を来年度以降も継続すること。

保育人材の安定的な確保のための 施策の実施について

全国的に少子化が進行する中、安心して子どもを産み育てることのできる社会づくりが求められています。

当市においても、よりよい教育・保育環境を整備するため、国・県の子ども・子育て支援制度に基づき子育て支援の充実を図っていますが、未満児保育への要望の増加や子育て家庭の保育ニーズの多様化により、更なる子育て環境の充実が求められています。

特に、当市では子育て世代の転入が多く、未満児保育や障がい児保育への要望が強くなっていることから、公私立保育所とも保育士の増員が必要な状況にあります。さらに、当市では平成29年度、平成30年度に待機児童が出ており、現在も、多くの潜在的な待機児童を抱えていることから、保育士の安定的な確保が急務となっています。

つきましては、当市の保育人材を安定的に確保するため、下記事項について特段の御高配を賜りますようお願いします。

記

- 1 多くの都道府県で取り組んでいる「保育士・保育所支援センター」を早期に開所するとともに、潜在保育士の掘り起こしと就業支援機能を発揮し、保育所の保育士不足の解消につながるよう各市町や各施設と連携を図りながら運営すること。



新産業創出への支援について

当市では地場産業で培われた高度な技や知見を活かして、既存産業の高度化とその技術を基にした新産業創出に取り組んでいます。

眼鏡産業では、チタンの微細加工など、内発的イノベーションによって生み出された高度な加工技術を活かして、医療やウェアラブル端末関連等の成長分野への進出に取り組む産地中核企業がでてきており、繊維産業におきましても、その高度な技術を駆使し、医療、エアバック、コンピューター部品など産業用分野へ進出し活躍する企業が増えています。漆器産業におきましては、慶應義塾大学と連携し新素材を活用した商品開発や販路開拓、雑貨分野への商品展開に取り組んでいます。

つきましては、新産業の成長分野への進出および新素材での商品開発に取り組む産地中核企業を積極的に支援・育成するため、下記事項について特段の御高配を賜りますよう要望します。

記

1 販路開拓、異分野進出に対する継続支援

- ・眼鏡の要素技術を用いた医療や介護・福祉、ウェアラブル情報端末などの分野への進出支援を継続すること。
- ・新素材開発や素材研究などへの支援を継続すること。



眼鏡産業の振興支援について

国内唯一の眼鏡フレーム産地「鯖江」では、産地経営者の「ブランド戦略の重要性」に対する理解を向上させるため、若手経営者を中心にブランドの専門家によるセミナーや勉強会等に継続して取り組む中で、OEM主体の「作るだけの産地」から「売れるものを創り、自らが売る産地」の実現を目指して取り組んでいます。

また、これらの取組みを通じて、自社製品のブランド化への取組みが活発化し始めているほか、産地全体のブランド力向上に対する意識が向上したことで、平成28年5月には、産地業界団体が主体となり、産地での開催は19年ぶりとなる眼鏡見本市「サバエメガネメッセ」の開催を実現したほか、消費者を対象とした産地イベント「めがねフェス」は5周年を迎えるなど、鯖江ブランド製品による新市場開拓、産地情報の発信を図っているところです。

つきましては、眼鏡産業の活性化と産地の持続可能な発展を図るため、下記事項について特段の御高配を賜りますよう要望します。

記

- 1 眼鏡産地 sabae のブランド確立を目指す取組みを支援すること。
- 2 眼鏡国際見本市への出展を支援すること。
- 3 売れる商品開発に向けたデザイナー、商品企画担当者の育成を支援すること。



越前漆器産業の振興支援について

1500年の歴史を持つ地場産業の越前漆器は、伝統工芸としての匠の技を承継しながら、塗りの技術の多様化や消費者ニーズに応える製品づくりに日々努めています。

特に近年では、慶應義塾大学や東京藝術大学との連携による海外市場を視野に入れた石灰石由来の新素材「ライメックス」や漆黒のインク「ZEN BLACK」を用いた新商品開発や国内外への販路開拓に取り組んでいます。

さらに越前ものづくりの里プロジェクトでの後継者育成事業、5産地連携による各種PR事業、漆文化のユネスコ無形文化遺産登録に向けた展開、越前漆器伝統産業会館（うるしの里会館）の免税システム導入など、各種事業を積極的に展開しています。

つきましては、歴史ある「漆」の日本文化としての継承と新たな商品づくり、異業種分野への進出、さらには海外への展開や漆器産地へのインバウンド誘客などに取り組むにあたり、下記事項について特段の御高配を賜りますよう要望します。

記

- 1 「越前ものづくりの里プロジェクト」事業による産地振興および後継者育成支援を継続すること。
- 2 漆文化のユネスコ無形文化遺産登録に向けた取組みを支援すること。
- 3 国内外展示会出展への支援を継続すること。
- 4 うるしの木植栽事業支援（ふるさと特産林産物再生事業）を継続すること。
- 5 給食食器などへの越前漆器導入支援を継続すること。

福井ものづくりキャンパスを活用した デザイン振興支援について

地域のものづくり産業の振興や人材育成の拠点機能を有する「福井ものづくりキャンパス」を福井県産業振興施設（サンドーム福井）に整備し、多くのものづくり企業の相談にワンストップで対応していただいております。市内企業の製品づくりにおけるＩＴ機器の活用が浸透してきています。

そのような中、令和２年度には鯖江高校と丹南高校が統合し、時代の動向を見据え、普通科の中にＩＴ・デザインを学ぶクラスの設置が検討されており、デザインについて高度な知識と技術を有する人材育成に向け、福井ものづくりキャンパスとの連携を期待するところです。

つきましては当該施設の更なる有効活用により当市地場産業の振興を図るため、下記事項について特段の御高配を賜りますよう要望します。

記

- 1 市内ものづくり企業の製品設計・試作開発力の強化を図るため、デザインラボ設備（具体的には３Ｄスキャナー）の充実を図ること。
- 2 鯖江高校の再編整備にあたり、福井ものづくりキャンパスとの連携によるデザイン学習を導入すること。
- 3 デザインセンター機能を活用した「売れるものづくり」に役立つ講座の開催や伝統工芸の体験教室を継続実施すること。
- 4 イベント開催などに合わせ、漆器など丹南地域の伝統工芸品をはじめ、眼鏡や繊維などの展示販売会を継続実施すること。



強い水田農業の推進への支援について

当市の農地は、ほとんどが水田であり、これまで、主力である米のブランド化に取り組むとともに水田での園芸作物の導入による経営の複合化を進めてきました。

そのような中、従来の米等の生産・販売方法では、消費者の多様なニーズに応えられない状況にあり、今後、設備の機能充実を図っていく必要があるほか、水田園芸の規模拡大のためには作業体系の機械化が必要であり、園芸作物の導入に取り組む農家や集落営農組織を育成していくことが必要です。

つきましては、「さばえ菜花米」や福井県の推奨する「いちほまれ」等、おいしい鯖江米やブロッコリー、ミディトマト、マルセイユメロンなどを核とした需要のある農作物の生産振興を図りながら、地域で活躍する農業者の所得の向上を目指すことで、農業が足腰の強い産業として生き残れるよう、下記事項について特段の御高配を賜りますよう要望します。

記

- 1 さばえ菜花米など地域特産農産物を有利に販売するために必要な乾燥調製施設の更新などを支援すること。
- 2 園芸作物の生産振興に資する機械、施設整備に係る助成要件を緩和するとともに内容を拡充すること。

広域的な鳥獣被害対策の強化について

昨今、鳥獣被害は農業者の生産意欲を減退させる大きな要因となっています。当市では、農作物への被害防止にあわせ、地域住民の安全・安心の確保に向け、「人と生き物のふるさとづくりマスタープラン」を策定し、住民自らの取組みによる人づくり・地域づくりを推進しています。

これら鳥獣被害は県内全ての市町で発生していることから、県の指導のもと、隣接する市町の連携により広域的で計画的な被害対策体制を整備することで、大きな効果が期待でき、実際、丹南地域では、サルやシカにおいて広域的な連携により成果が出ています。

また、近年シベリアイタチによる被害が激増しており、その生息状況の把握や対応方法の確立が急務となっています。

つきましては、下記事項について特段の御高配を賜りますよう要望します。

記

- 1 県による市町を越えた広域での総合的な鳥獣被害対策の指導体制を整備し、継続的に指導すること。
- 2 今後のシカ被害防止のために必要となる山際点検管理道の整備などの環境整備を支援すること。
- 3 悪質なサル群れを半減させるための選択的捕獲の支援を継続的に行うこと。
- 4 生息域を拡大する鳥獣のモニタリングを強化し、その対応策を確立し支援すること。

河川改修事業の早期完成と河川環境整備について

近年、全国各地で台風による大雨や異常気象による局地的な集中豪雨などにより、河川が氾濫し、家屋などの浸水や人的被害など、甚大な被害が発生しています。

当市においても、平成29年10月の台風第21号により、日野川など市内の一級河川全てで氾濫危険水位を超えるなど、住民の安全・安心な生活を脅かしています。

また、河川の機能性の向上、景観などの観点から住民の環境整備への要望も強くなってきています。

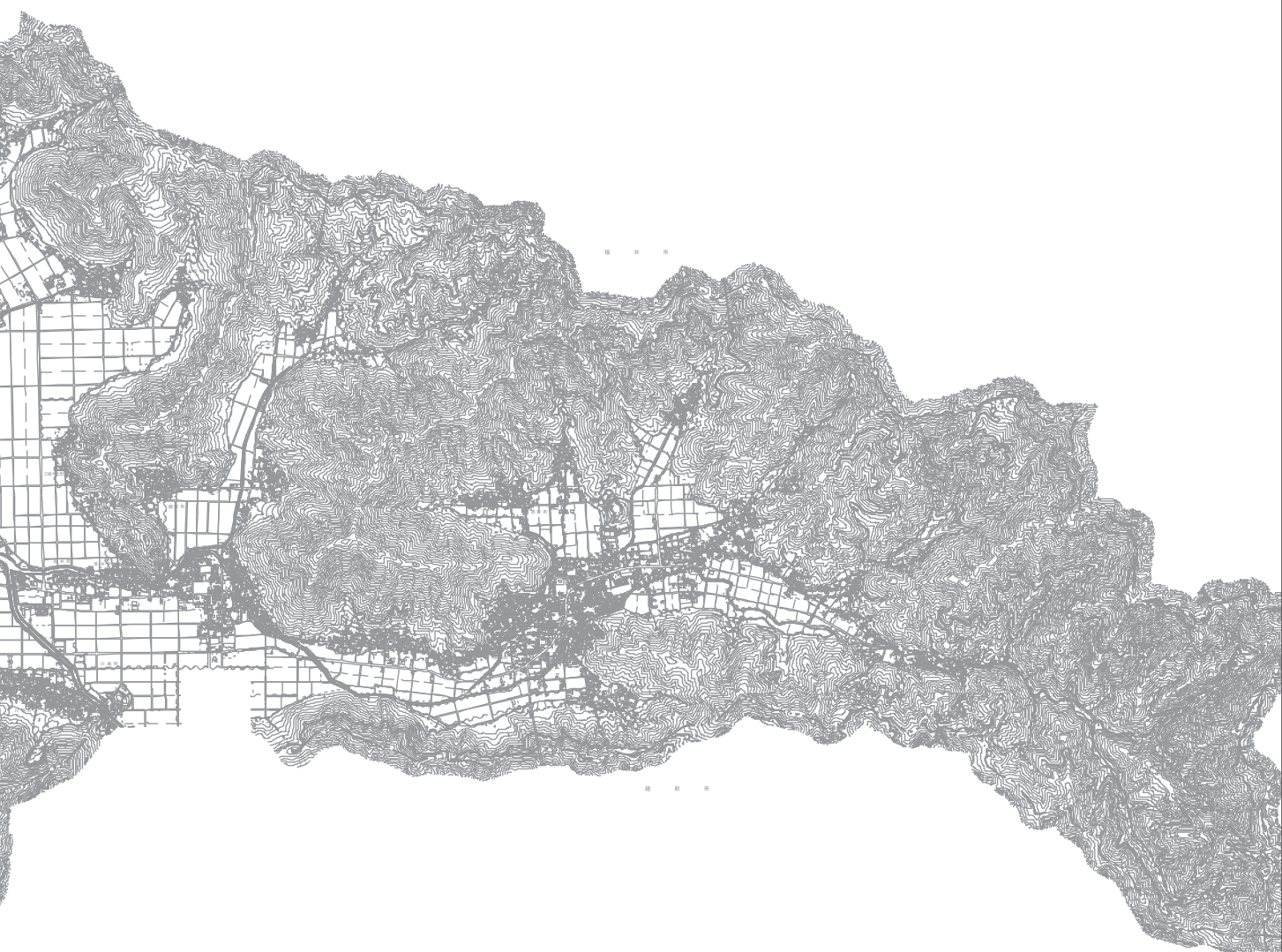
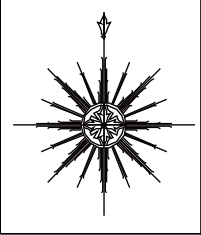
つきましては、流域住民の安全・安心の確保のため、下記事項について特段の御高配を賜りますよう要望します。

記

- 1 一級河川吉野瀬川 堤防嵩上げの早期完成
- 2 一級河川日野川 清水山工区の事業化
- 3 一級河川黒津川 浄化と浚渫および環境整備の推進
- 4 河川の浚渫や立木除去などによる適正な維持管理の徹底
- 5 和田川排水機場の計画的な施設の更新

要 望 箇 所 図





通常砂防事業（堰堤）および急傾斜地崩壊対策事業（法面工）の整備促進について

平成16年7月の福井豪雨および同年10月の台風第23号による水害は、当市に未曾有の被害をもたらしました。

この水害では、河和田川、鞍谷川などのいたるところで、山林から流出した土砂が河川を塞ぎ濁流が堤防を越えるなど、河川の機能が果たせない状態となりました。

そこで、被災の一因である河川への土砂流出抑制のため、通常砂防事業による山間部の砂防堰堤の整備が急がれるところです。

また、住民の生命と財産を守るため、急傾斜地崩壊対策事業の実施も待ち望まれています。

つきましては、流域および地区住民の不安解消のため、下記事項について特段の御高配を賜りますよう要望します。

記

1 通常砂防事業

	河 川 名	要 望 地 係	要望事項
①	毘紗川	尾花町	早期完成（堰堤）
②	小谷川	上戸口町	早期完成（堰堤）
③	上谷川	沢町	早期完成（堰堤）
④	上山川	中戸口町	新規採択（堰堤）

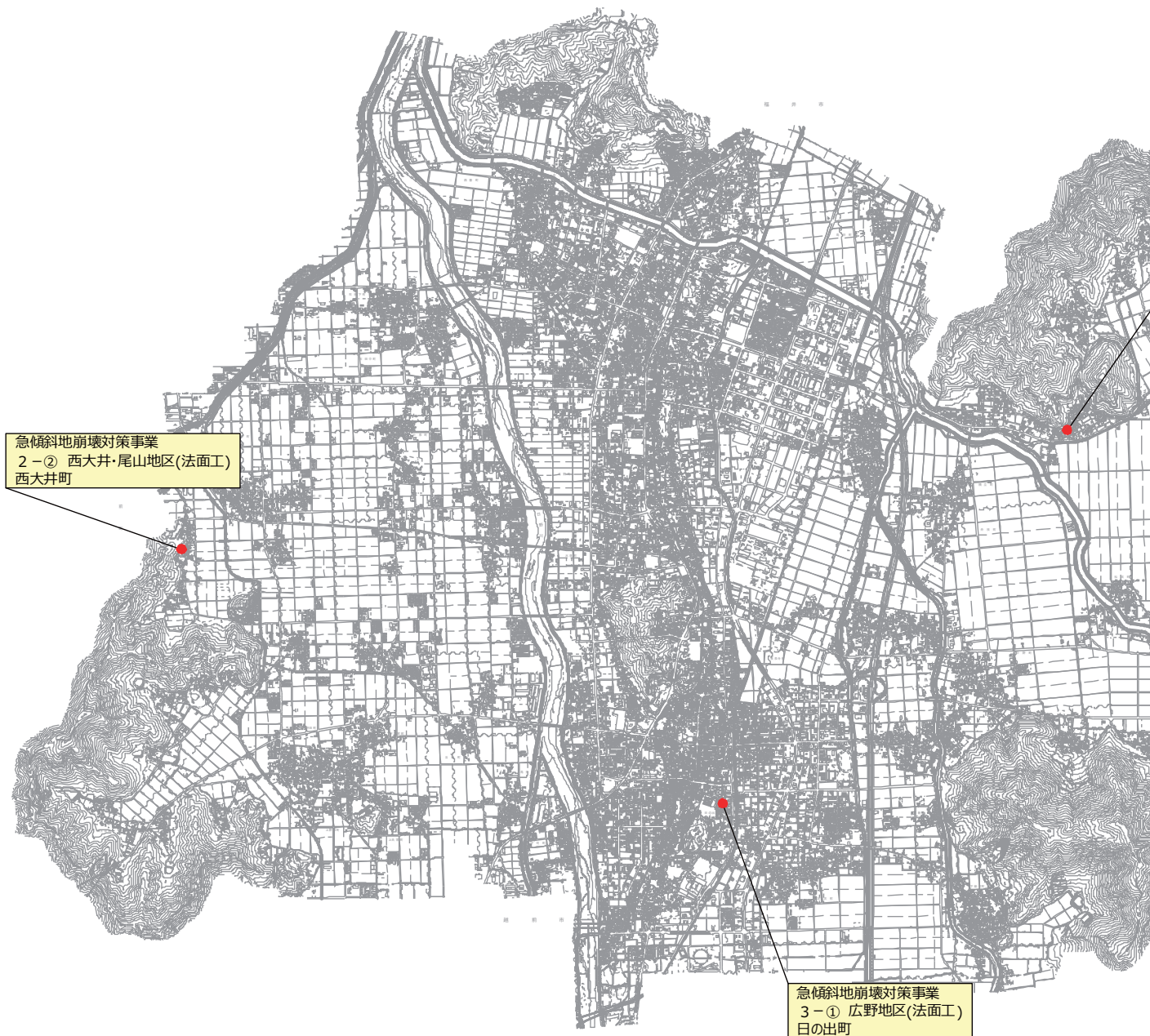
2 急傾斜地崩壊対策事業

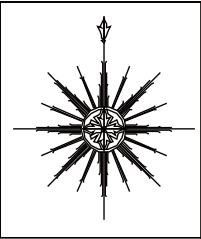
	地 区 名	要 望 地 係	要望事項
①	稲葉地区	吉谷町	新規採択（法面工）
②	西大井・尾山地区	西大井町	新規採択（法面工）

3 （県単）急傾斜地崩壊対策事業補助金

	地 区 名	要 望 地 係	要望事項
①	広野地区	日の出町	新規採択（法面工）

要望箇所図





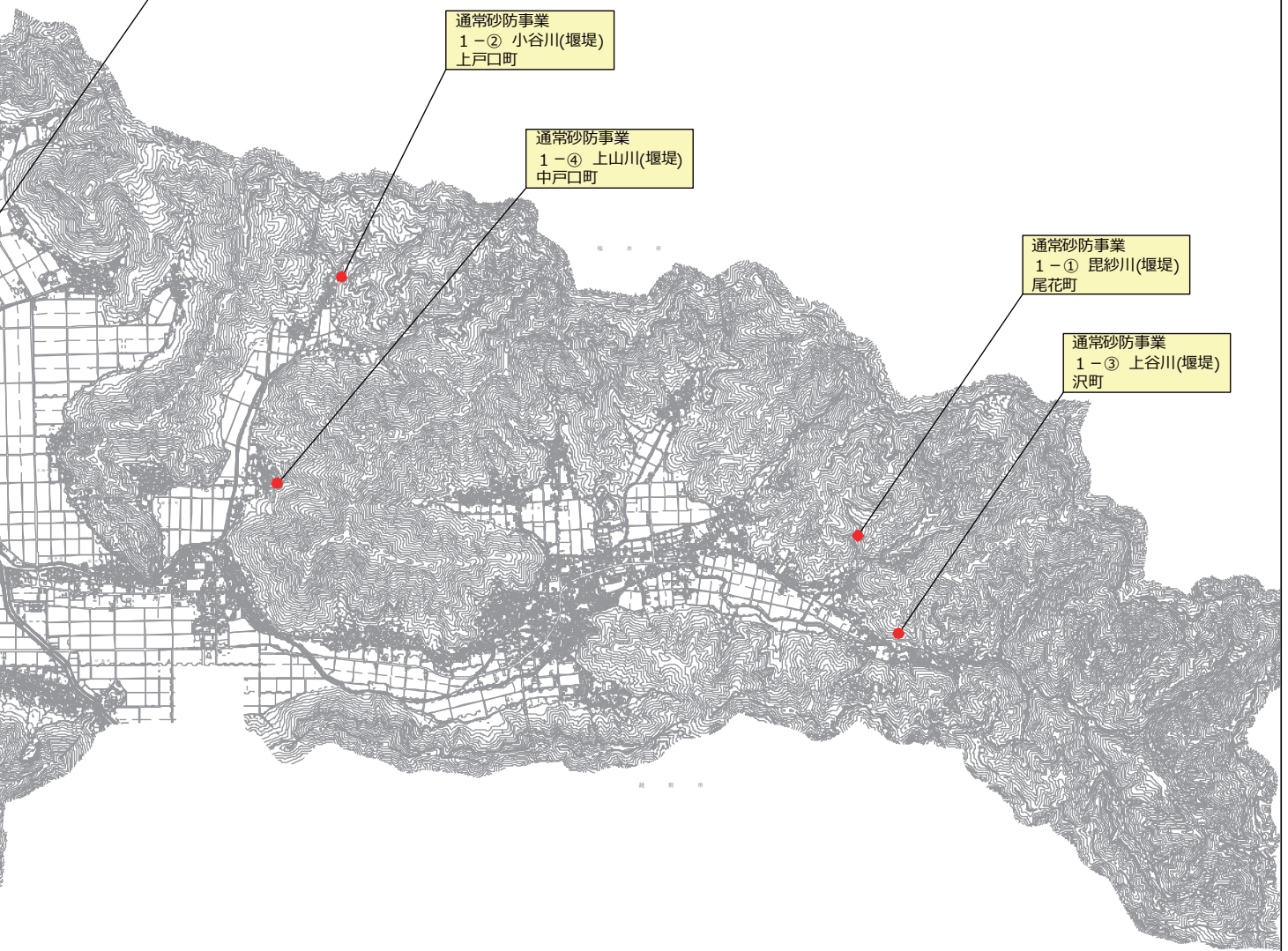
急傾斜地崩壊対策事業
2-① 稲葉地区(法面工)
吉谷町

通常砂防事業
1-② 小谷川(堰堤)
上戸口町

通常砂防事業
1-④ 上山川(堰堤)
中戸口町

通常砂防事業
1-① 毘紗川(堰堤)
尾花町

通常砂防事業
1-③ 上谷川(堰堤)
沢町



国・県道等の整備促進について

当市の道路網は、国道８号をはじめ市街地の南北方向は概ね整備されていますが、東西を結ぶ道路あるいは近隣の市町に接続する道路については必ずしも十分な整備水準とはいえません。また、歩道のバリアフリー化や雪に強い道づくりにつきましても重要な課題となっています。

つきましては、下記路線などの整備促進について特段の御高配を賜りますようお願いします。

記

１ 国 道

	路 線 名	要 望 地 係	要 望 事 項
①	国道４１７号	県境区間（冠山峠道路）	早期完成（道路改良）
②	国道４１７号	糺橋取付部	早期着工（自歩道整備）
③	国道４１７号	糺町～川去町	早期完成（消雪）

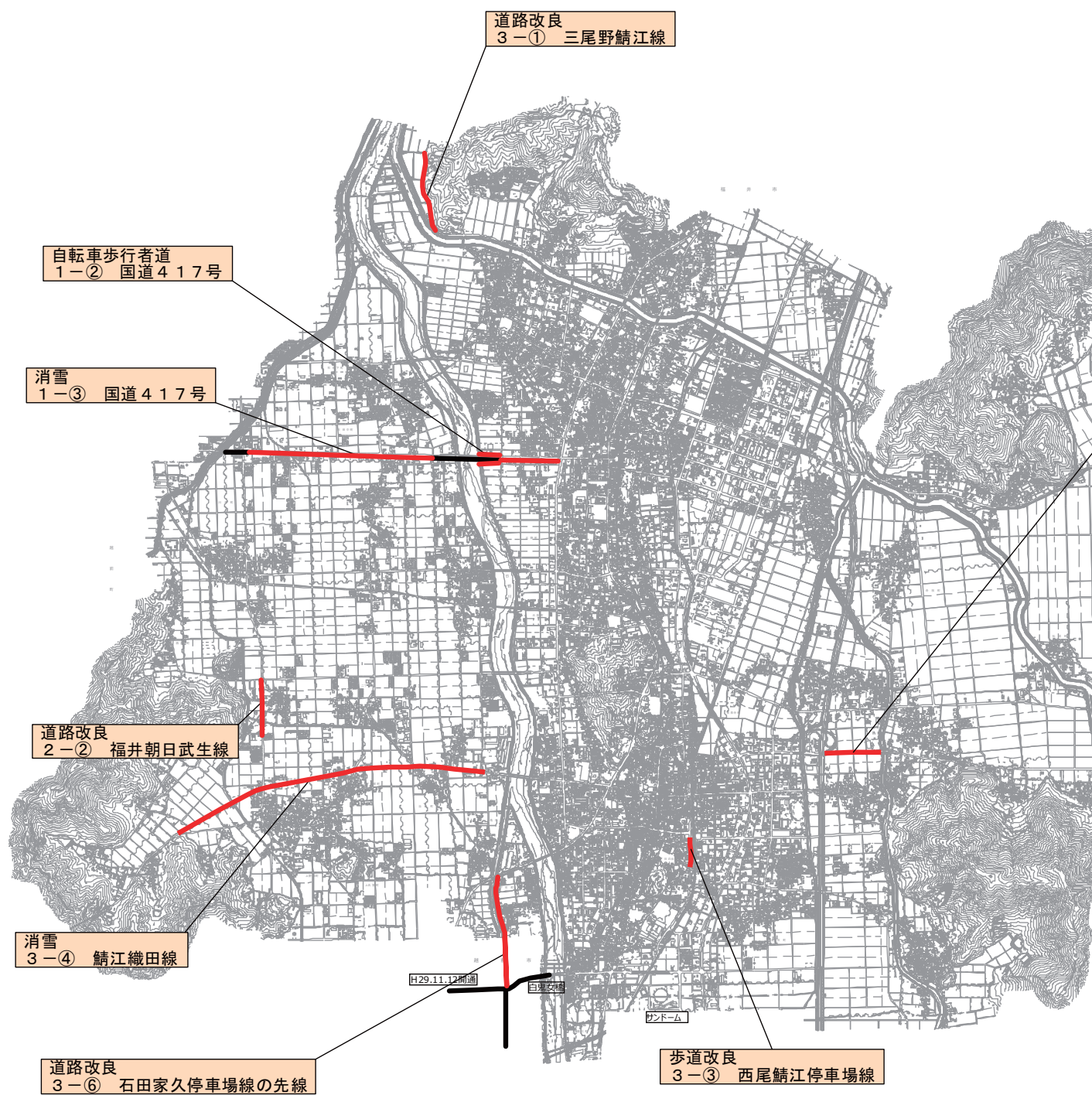
２ 主要地方道

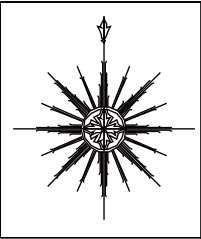
	路 線 名	要 望 地 係	要 望 事 項
①	鯖江美山線	金谷町	早期完成（道路改良）
②	福井朝日武生線	冬島町	早期完成（道路改良）

３ 一般県道

	路 線 名	要 望 地 係	要 望 事 項
①	三尾野鯖江線	三尾野出作町	早期完成（道路改良）
②	鯖江今立線	横越町～中野町（鯖江 IC 東）	早期着工（消雪）
③	西尾鯖江停車場線	日の出町	早期着工（歩道改良）
④	鯖江織田線	熊田町～石生谷町	早期着工（消雪）
⑤	福井今立線	戸口町	早期着工（交差点改良）
⑥	石田家久停車場線の先線 （延伸整備）	下司町（越前市からの延伸）	早期着工（道路改良）

要望箇所図





消雪
3-② 鯖江今立線

道路改良
2-① 鯖江美山線

交差点改良
3-⑤ 福井今立線

農業農村整備事業の確実な推進について

頻発する局地的な集中豪雨や農業用用水・排水施設の老朽化や破損などにより、農地の湛水被害が頻発しています。また農業用施設の維持管理に要する労力および費用が増大するなど、農業経営も圧迫されています。

このため、老朽化した農業用用水・排水施設の改修を行い、農村地域の防災力の向上や農業経営の合理化を図るとともに、農村集落内の生活環境を改善する必要があります。

つきましては、持続可能な農業経営および快適な農村づくりを図るため、下記事項について特段の御高配を賜りますようお願いします。

記

- 1 農村災害対策整備事業（論手地区）の早期完成
- 2 湛水防除事業（小規模）（北中山地区）の早期完成
- 3 基幹水利施設ストックマネジメント事業（熊田・荒子地区）の早期完成
- 4 農村振興総合整備事業（鯖江第2地区）の継続的な支援

県立高校２校（鯖江高校、丹南高校）の 統合に伴う高校教育の充実について

少子化が進む中、丹南地区の県立高校の再編が決定され、来年度、丹南高校が鯖江高校に統合されることとなりました。

鯖江高校と丹南高校は、これまで多数の卒業生を地元の企業に送り出し、丹南地域の経済や産業の振興を支えるなど、地域の発展に必要不可欠な高校です。

そこで、来年度から再編されスタートする新鯖江高校は、地域経済や産業の発展につながる人材を育むため、丹南地区中学生に選択される地域と密着した魅力的な高校であることが期待されます。

当市としましては、中学生一人ひとりの夢や希望を実現させていく上で、新鯖江高校の魅力や特色をしっかりと伝える取組みを今後も継続するとともに、地元からの進学率を高める努力を進めていきます。

つきましては、将来に向けた地域教育力の向上および地域経済や産業振興につながるよう、下記事項について特段の御高配を賜りますようお願いします。

記

- 1 これまでの両校の特色を生かし、進学体制の強化のため、カリキュラムや学習環境の充実を図るとともに、ＩＴ・デザインやスポーツ・福祉分野の教育内容の充実を図ること。
- 2 新鯖江高校の魅力をさらに高めるため、部活動等、課外活動の充実を図ること。
- 3 統合後の丹南高校について、デザイン・ＩＴ・スポーツ・福祉などの充実した学習設備をサテライトキャンパスや県総合教育研究所丹南支所やスポーツセンターとして活用するなど、丹南地区の教育環境の整備と充実を図ること。



2020 東京オリンピック体操競技事前合宿の 開催に向けた支援について

当市では、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の開催に向け、一昨年10月には中国体操ナショナルチーム事前合宿の当市開催に関する覚書を締結し、昨年4月からは県にも参画いただいて事前合宿鯖江市準備委員会を立ち上げるなど、事前合宿受入れの成功に向けて準備を進めているところです。

今後も、県と当市での開催機運を醸成する取組みの拡充や交流事業の推進などにより、事前合宿開催の効果を確実に県と当市に波及させるとともに、世界中に県と当市の魅力をアピールすることが求められます。

また、事前合宿の開催に要する経費は、練習会場の体操器具設置費、選手・役員などの日本国内交通費や宿泊滞在費、会場輸送費、歓迎交流費など多岐にわたり、受入自治体にとって大きな負担となることが想定されます。

つきましては、県と当市のより一層の情報共有と協力体制の構築および財政支援制度の創設による事前合宿の開催と成功に向け、下記事項について特段の御高配を賜りますよう要望します。

記

- 1 事前合宿の開催に要する経費に対する高率な県補助制度を創設すること。
- 2 事前合宿受入れに係る通訳等ボランティアの確保へ支援すること。

鯖江市重要要望書

令和 2 年度

発行日	令和元年 8 月
発 行	鯖 江 市
編 集	鯖江市 政策経営部 めがねのまちさばえ戦略課 〒 9 1 6 - 8 6 6 6 鯖江市西山町 1 3 番 1 号
電 話	(0 7 7 8 - 5 1 - 2 2 0 0)
直 通	(0 7 7 8 - 5 3 - 2 2 6 3)
F A X	(0 7 7 8 - 5 1 - 8 1 5 0)
メー ル	SC-MeganeNoMachi@city.sabae.lg.jp

鯖江市の花・木・鳥

つつじ・さくら・おしどり



『みなぎる活力とまちづくりへの
情熱』のシンボル



『心の豊かさと明日への希望』
のシンボル



『男女共同・参加と協働
そして豊かな自然』のシンボル

鯖江市の動物

レッサーパンダ



メガメガくん

ウルウルちゃん